

宮城県環境基本計画見直しに係る 基本的事項(案)

1 計画見直しの考え方（案）

◎ 計画見直しに当たっては、以下の考え方で進めるものとする。

- 1 「宮城県震災復興計画」に基づく復興の取組による県民生活や社会経済活動の状況を踏まえ、震災復興計画以降の環境政策等の在り方を打ち出すとともに、計画的に推進していく視点で検討する。
- 2 持続的な開発目標(SDGs)や地方創生の取組を通じて、環境・経済・社会の統合的向上の実現を推進する視点で検討する。
- 3 国の第五次環境基本計画に盛り込まれている「地域循環共生圏」の考え方を踏まえ、本県が目指す環境の将来像や施策展開のコンセプト及び目標設定等において整理する。
- 4 環境課題の複雑化・多様化に対応するため、政策分野横断的な視点や総合的に進めていく視点で検討する。
- 5 県民・事業者の主体的な環境配慮行動の実践を促せるよう、メッセージやヒントを「具体的」に「わかりやすく」伝えるための視点で検討する。
- 6 今年度から見直し作業が進められている県総合計画（現行の計画期間：2020（令和2）年度まで）の動きを踏まえながら、整合を図ることとし、次期の県環境基本計画の計画期間については、現時点での新たな県総合計画の想定に合わせて以下のとおり設定する。

項目	現行計画（県）	新計画（案）	(参考) 第五次環境基本計画（国）
策定等年月	2016（H28）年3月	2021（R3）年3月頃	2018（H30）年4月（閣議決定）
計画期間	2016（H28）年度～2020（H32）年度 （5年間）	2021（R3）年度～2030（R12）年度 （10年間）	2018（H30）年度～2023（R5）年度ごろ （これまでも約6年ごとに見直しされている）

2 計画見直しの論点（案）

◎ 現時点で、事務局が考えている論点は以下のとおり。

1 目指す環境の将来像・基本的な方向性・目標の設定

⇒ 本県の自然的・社会的条件などを踏まえ、本県が目指す環境の将来像や目標を、どのように設定すべきか。また、将来像を実現していくために、国内外の動きを踏まえた基本的な方向性をどのように考えるか。

2 将来像を実現するための政策・取組

⇒ 将来像や目標達成に向け、県はどのような対策を講じる必要があるか。また、力を入れる分野はどこか。各主体にどのように行動していただくか。

3 目標の管理指標と進行管理手法

⇒ 環境基本計画の進行管理は、どのような方法で行うか。その中で計画の進捗状況を表すのに効果的な管理指標として、どのようなものを設定するか。また、計画期間中の中間見直しについてはどのように考えるか。

3 環境基本計画見直しスケジュール（案）

	平成30年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度	
環境審議会 (専門委員会議)		8/7 【第1回(専)】 基本的事項 中間評価 将来像 目標・指標 県民・事業者の 意識調査内容	8月~10月 県民・事業者 意識調査	11月予定 【第2回(専)】 中間評価 将来像 目標・指標 施策の方向性 施策案 骨子	2/3 【第3回(専)】 中間案	5月~7月頃 パブリックコメント ／ 市町村への意見照会	パブリックコメント ／ 市町村意見 取りまとめ	8月~9月頃 【第4回(専)】 最終案	※必要な場合10月頃 【第5回(専)】 最終案		
環境審議会 ・ 県議会	3/27 諮問		県民・事業者 意識調査 取りまとめ	3/23 中間報告 (中間案の 報告)				11月~12月頃 答申 (最終案)	2月 <2月県議会> 上程	3月末 <2月県議会> 議決 策定・公表	4月 計画期間開始

環境基本計画策定専門委員会議	第1回会議 (8/7)	第2回会議 (11月予定)	第3回会議 (2/3予定)	環境審議会 (3/23予定)
	1 基本的事項 ○ 計画策定の見直しに当たっての確認 ・現行計画の概要 ・見直しの基本的事項(案) (検討スケジュールを含む) 2 現計画の中間評価 ○ 現行計画の点検評価 ○ 「県民・事業者意識調査」の実施案 3 その他	1 現計画の中間評価 ○ 県施策の実施状況と今後の方向性 ○ 「県民・事業者意識調査」の実施結果 ○ 将来像の達成状況・評価 2 目標・指標 ○ 将来像・目標・管理指標の考え方 3 施策の方向性 ○ 施策の方向性 ○ 施策案の検討 4 骨子 ○ 新計画の骨子案 5 その他	1 中間案 ○ 将来像実現のための目標と達成のための 施策との整合 ○ 県長期総合計画との整合 ○ 関連する分野別個別計画との整合 2 その他	1 中間報告 ○ 中間案の報告